



ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 サステナビリティワラント 実行後定期レビュー(第1回)



## セカンド・パーティ・オピニオン

## SECOND PARTY OPINION

# ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社 サステナビリティワラント 実行後定期レビュー(第1回)

Prepared by: DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

Location: 神戸, 日本

Date: 2022年8月12日

Ref. Nr.: PRJN-216421-2021-AST-JPN-PR01

### 発行履歴

発行日	内容
2021年2月26日	サステナビリティファイナンス適格性 セカンドパーティ・オピニオン
2022年8月12日	サステナビリティワラント 実行後定期レビュー(第1回)

## 目的とスコープ

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス株式会社(以下「ダイヤモンドエレクトリック HD」)は、DNV ビジネス・アシユアランス・ジャパン株式会社(以下「DNV」)にサステナビリティワラントの定期レビューの実施を委託しています。

DNV における定期レビューの目的は、このファイナンスが後述する基準である、グリーンボンド原則(国際資本市場協会(以下 ICMA) 2018、以下「GBP」)、ソーシャルボンド原則(ICMA 2020、以下「SBP」)、サステナビリティボンドガイドライン(ICMA 2018、以下「SBGL」)に共通して定められる 4 つの核となる要素を参照していることを確認するための評価を実施し、このファイナンスの適格性について独立したセカンド・パーティ・オピニオンを提供することです。

ダイヤモンドエレクトリック HD は 2021 年 3 月からサステナビリティワラントの権利を行使しました。今回のサステナビリティプロジェクトにおける、サステナビリティワラント及びバックアップローンによる調達資金額は合計 15 億 8920 万円です。このうち、今回の評価対象となるサステナビリティワラントの権利行使による調達額は、表-1 に示すとおり合計 10 億円 8920 万円で、バックアップローンによる調達額は 5 億円です。DNV のレビューチームは、GBP, SBP 等を参照して、2021 年 3 月から 2022 年 3 月までの期間について、第 1 回目の定期レビューを実施しました。

表-1 サステナビリティワラントの権利行使状況

権利行使年月	調達額	合計調達額
2021 年 3 月	1 億 9850 万円	1 億 9850 万円
2021 年 6 月	1 億 7280 万円	3 億 7130 万円
2021 年 7 月	7 億 1790 万円	10 億 8920 万円

この報告書ではサステナビリティファイナンス市場で幅広く認知されている GBP、SBP 等で定められる 4 つの核となる要素(後述する要素-1～要素-4)を参照して、発行後定期レビューを行います。

DNV は、独立した外部レビュー機関としてセカンドパーティ オピニオンの提供に際し、ダイヤモンドエレクトリック HD とは事実及び認識においていかなる利害関係も持たないことを宣言します。

この報告書では、サステナビリティワラントの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、あるいは長期の環境便益に関する保証も提供されません。

**適用又は参照基準**

No.	基準もしくはガイドライン	発行者	適用レベル* <sup>1</sup>
1.	グリーンボンド原則 (GBP)	国際資本市場協会(ICMA), 2018	参照
2.	ソーシャルボンド原則 (SBP)	国際資本市場協会(ICMA), 2020	
3.	サステナビリティボンドガイドライン(SBGL)	国際資本市場協会(ICMA), 2018	
4.	グリーンボンド及びソーシャルボンド:持続可能な開発目標(SDGs)に照らしたハイレベルマッピング	国際資本市場協会(ICMA), 2018	
5.	インパクトレポーティング調和化に関する冊子	国際資本市場協会(ICMA), 2020	

\*<sup>1</sup>参照 : DNV 適格性評価手順に基づき、グローバルで幅広く認知された GBP、SBP 等で定められるの 4 つの核となる要素の主要な要件を参照し、適格性を評価しました。この際、ワラント特有の資金管理面、レポーティングに関する運用を考慮しました。



## 発行体及び DNV の責任

発行体の管理者は、DNV がレビューを実施する間に必要な情報やデータを提供しています。

DNV のステートメントは、独立した意見を表明するものであり、DNV に提供された情報を基礎として、その確立された基準が満たされているか否かについて発行体及びこの債券に関わるその他の利害関係者に情報提供する事が、意図されています。

DNV はそのレビューの中で、発行体によって提供された情報および事実を根拠としています。DNV はこの意見表明によって参照される選定されたトランジションプロジェクト資産の、いかなる側面においても責任を負う立場ではありません。

従って DNV は発行体の管理者から提供され、今回のレビューの基礎として使用された情報またはデータのいずれかが正確でなかった、または完全でなかった場合にその責任を負いません。

## DNV の意見の基礎

DNV は、発行体にとってより柔軟なサステナビリティワラント適格性評価を行うため、GBP、SBP 等の各種基準の要求事項を考慮したフレームワーク評価手順（以下、手順）を作成しました。この手順は GBP、SBP 等の 4 つの核となる要素を参照しています。

DNV の手順は、DNV の意見表明の根拠に資する一連の適切な基準を含んでいます。その基準の背景にある包括的な原則は、サステナビリティファイナンスが「環境及び社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」べきである、というものです。

DNV の手順に従って、レビュー対象であるサステナビリティワラントに対する評価基準は、以下の 4 つの要素にグループ分けされます。

- **要素 1：調達資金の使途**：調達資金の使途の基準は、フレームワークを制定した発行体が適格性を認められたフレームワークに基づき実施されるサステナビリティワラントにより調達した資金を適格プロジェクトに使わなければならない、という要求事項によって定められています。適格プロジェクトは、明確な環境改善効果及び社会貢献を提供するものです。
- **要素 2：プロジェクトの評価及び選定のプロセス**：プロジェクトの評価及び選定の基準は、フレームワークを制定した発行体が、サステナビリティワラントにより調達した資金を使途とする投資の適格性を判断する際に従うプロセスの概要を示さなければならない、また、プロジェクトが目的に対する影響をどのように考慮しているかの概要を示さなければならない、という要求事項によって定められています。
- **要素 3：調達資金の管理**：調達資金の管理の基準は、グリーンエクイティ・オフリングにより調達した資金が、ワラント特有の管理方法に基づき、発行体組織によって追跡管理されなければならないこと、また、必要な場合には、区別されたポートフォリオを構築し、未充当資金(資金調達～プロジェクト充当までの期間)がどのように扱われるか公表するという観点で作成されなければならないことが、要求事項によって定められています。
- **要素 4：レポーティング**：レポーティングの基準は、サステナビリティワラントへの投資家に対して、少なくとも、資金の充当状況及び可能な場合には定量的もしくは定性的かつ適切なパフォーマンス指標を用いたサステナビリティレポート等を発行する、という推奨事項によって定められています。



## 評価作業

DNV の評価作業は、発行体によって誠実に情報提供されたという理解に基づいた、利用可能な情報を用いた包括的なレビューで構成されています。DNV は、提供された情報の正確性をチェックするための監査やその他試験等を実施していません。DNV の意見を形成する評価作業には、以下が含まれます。

### 初回(サステナビリティファイナンス実行前)アセスメント \*本報告書には含まれません

- ファイナンスへの適用を目的とした発行体特有の評価手順の作成。
- この債券に関して発行体より提供された根拠文書の評価、及び包括的なデスクトップ調査による補足的評価。これらのチェックでは、最新のベストプラクティス及び標準方法論を参照します。
- 発行体との協議及び、関連する文書管理のレビュー。
- 基準の各要素に対する観察結果の文書作成。

### 定期(年次)レビュー \*本報告書の内容

- サステナビリティファイナンス実行に関連した発行体により提供された根拠書類、上位レベルのデスクトップ調査、文書レビュー、及び発行体の主要担当者へのインタビューで補足された根拠書類の評価。これらのチェックは、現在の評価ベストプラクティスと標準方法論を参照します。
- 発行体の管理者との協議、および関連文書のレビュー。
- 現地調査および検査（必要な場合）。
- 定期評価時点での、対象プロジェクト及び資産のレビュー。
- 本書で詳述されている、定期評価の観察結果の文書作成。

DNV の意見表明（詳細は後述）はこれらを要約したものです。

## 観察結果

### ●要素1：調達資金の使途：

DNVは、2022年3月末において、ダイヤモンドエレクトリックHDがサステナビリティワラントで調達した資金を以下のプロジェクトに充当したことを確認しました。いずれのプロジェクトもサステナビリティワラント実行前に、グリーン性、ソーシャル性の何れか又は両方について適格性が評価されています。

#### 01-(1) 住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システムの設計開発及び生産設備の増強等

概ね当初の計画通り進捗しており、当期中に製品の生産開始が予定されています。

設備設置状況：2022年7月設置完了予定

稼働予定時期：2022年9月稼働開始予定

#### 01-(2) 産業用三相パワーコンディショナ及び蓄電システムの設計開発及び生産設備の増強等

概ね当初の計画通り進捗しており、2024年度の稼働に向けて開発が進められています。

#### 02-(1) V2H (Vehicle to Home) システムの開発及び生産設備の増強等

概ね当初の計画通り進捗しており、当期中に製品の生産開始が予定されています。

設備設置状況：2022年10月設置完了予定

稼働予定時期：2022年12月稼働開始予定



図-1 住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システムの設計開発 イメージ

## 要素 2 : プロジェクトの評価及び選定のプロセス :

DNV は、ダイヤモンドエレクトリック HD では、当該プロジェクト所管部門、技術管理本部及び財務部門により、及び関連する基準及びガイドライン等に合致していることが確認・評価され、CFO による選定の後、代表取締役社長により最終決定されるプロセス確立していることを確認しました。

ダイヤモンドエレクトリック HD は、環境関連の法規制やグループ環境方針の順守の徹底、ISO14001(環境マネジメントシステム)への取組を通じ、環境影響に対し、適切な対処・緩和策を実施して、環境及び社会影響リスクが少ないことを確認しています。

## ●要素 3 : 調達資金の管理 :

DNV は、2021 年 3 月の初回の権利行使から 2022 年 3 月末までの期間、ダイヤモンドエレクトリック HD が調達資金をどのように管理しているかについて、提示された証拠をレビューしました。

DNV は、調達資金は個別の口座に入金され、関連所管部でプロジェクトコードを付与し、プロジェクト毎に識別され、資金充当状況の管理が実施されたことを確認しました。また、調達資金は内部経理管理規程に基づき、財務経理部にて管理されていることを確認しました。調達資金は専用の帳簿を用いて、毎月残高(権利行使後～充当までの期間にある調達資金の残高)を確認し、四半期ごとにレビューしていることを確認しました。

今回のサステナビリティプロジェクトにおける、サステナビリティワラント及びバックアップローンによる調達資金額は合計 15 億 8920 万円です。このうち、今回の評価対象となるサステナビリティワラントの権利行使による調達額は 10 億 8920 万円で、バックアップローンによる調達額は 5 億円です。2022 年 3 月末現在、ワラントの権利行使による調達資金は 9 億 8430 万円が適格プロジェクトに充当され、1 億 490 万円が未充当となっています。未充当資金は現金または現金同等物で管理されており、2022 年度内に充当が完了する予定です。なお、バックアップローンによる充当も含め、プロジェクトは計画通り進捗しています

なお、先述の通り、ここでは DNV はファイナンスの財務的なパフォーマンス、いかなる投資の価値、もしくは長期的な環境効果に関する取扱いを提供されません。



表-2 資金充当状況(2021年3月初回権利行使後~2022年3月末)

No.	サステナビリティプロジェクト分類		サステナビリティプロジェクト	資金充当状況
	グリーン	ソーシャル		
01	再生可能エネルギー (太陽光発電及び蓄電システム関連プロジェクト)	災害時における基本的インフラ設備 (電力エネルギーの蓄電システム及び受給電システム関連プロジェクト)	(1) 住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システムの設計開発及び生産設備の増強等	調達額：15億8920万円 (うちバックアップローン5億円) 充当額：14億8430万円 (うちファイナンス0億円) 未充当残高：1億490万円
			(2) 産業用三相パワーコンディショナ及び蓄電システムの設計開発及び生産設備の増強等	
02	グリーン輸送 (EV等の受給電システム関連プロジェクト)	(3) V2H (Vehicle to Home) システムの開発及び生産設備の増強等		

●要素4：レポートिंग：

DNVは、ダイヤモンドエレクトリックHDがプロジェクトの進捗状況、資金充当状況及び環境改善効果を、ダイヤモンドエレクトリックHDのウェブサイトにて開示することを確認しました。環境改善効果は表-4のとおりです。

表-3 環境改善効果

No.	サステナビリティプロジェクト分類		サステナビリティプロジェクト	環境改善効果
	グリーン	ソーシャル		
01	再生可能エネルギー (太陽光発電及び蓄電システム関連プロジェクト)	災害時における基本的インフラ設備 (電力エネルギーの蓄電システム及び受給電システム関連プロジェクト)	(1) 住宅向け次世代パワーコンディショナ及び蓄電システムの設計開発及び生産設備の増強等	CO <sub>2</sub> 削減効果：179,992t-CO <sub>2</sub> /年 <sup>*1</sup> 蓄電容量：350MWh
			(2) 産業用三相パワーコンディショナ及び蓄電システムの設計開発及び生産設備の増強等	CO <sub>2</sub> 削減効果：92,444t-CO <sub>2</sub> /年 <sup>*2</sup> 蓄電容量：365MWh
02	クリーン輸送 (EV等の受給電システム関連プロジェクト)		(3) V2H (Vehicle to Home) システムの開発及び生産設備の増強等	CO <sub>2</sub> 削減効果：5,420t-CO <sub>2</sub> /年 <sup>*2</sup> 蓄電容量：15MWh

\*1: 生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値で、2022年の設備増強により、上記環境改善効果が見込まれます。

\*2: 生産開始時の想定設備能力を基に試算した推計値です。



## DNV 意見表明

DNV は、ダイヤモンドエレクトリック HD から提供された情報と実施された業務に基づき、ダイヤモンドエレクトリック HD が発行したサステナビリティワラントは評価手順の要求を満たしている事、そして GBP、SBP、SBGL の中で述べられている「環境及び社会便益をもたらす新規又は既存プロジェクトのための資本調達や投資を可能とする」というサステナビリティファイナンスの定義・目的と一致していることを意見表明します。

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

2022 年 8 月 12 日

マーク ロビンソン

サステナビリティサービス マネージャー

DNV ビジネス・アシュアランス、オーストラリア

前田 直樹

代表取締役社長

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

金留 正人

プロジェクトリーダー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

鳥海 淳

アセッサー

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社

### About DNV

Driven by our purpose of safeguarding life, property and the environment, DNV enables organisations to advance the safety and sustainability of their business. Combining leading technical and operational expertise, risk methodology and in-depth industry knowledge, we empower our customers' decisions and actions with trust and confidence. We continuously invest in research and collaborative innovation to provide customers and society with operational and technological foresight. With our origins stretching back to 1864, our reach today is global. Operating in more than 100 countries, our 16,000 professionals are dedicated to helping customers make the world safer, smarter and greener.

### Disclaimer

Responsibilities of the Management of the Issuer and the Second-Party Opinion Providers, DNV: The management of Issuer has provided the information and data used by DNV during the delivery of this review. Our statement represents an independent opinion and is intended to inform the Issuer management and other interested stakeholders in the Bond as to whether the established criteria have been met, based on the information provided to us. In our work we have relied on the information and the facts presented to us by the Issuer. DNV is not responsible for any aspect of the nominated assets referred to in this opinion and cannot be held liable if estimates, findings, opinions, or conclusions are incorrect. Thus, DNV shall not be held liable if any of the information or data provided by the Issuer's management and used as a basis for this assessment were not correct or complete.

## スケジュール-1 サステナビリティワラント適格性評価手順

下記のチェックリスト(SF-1 ~ SF-4) は、サステナビリティファイナンス市場で幅広く認知されている GBP、SBP 等で定められる4つの核となる要素を参照し、ダイヤモンドエレクトリック HD サステナビリティワラント適格性評価用に作成された DNV 評価手順です。ここでの評価は便宜上サステナビリティファイナンスと DSA サステナビリティワラントを同等とみなしています。

### SF-1 調達資金の使途

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
1a	ファイナンスの種類	サステナビリティファイナンスの種類は GBP で定義される以下の種類のいずれかに分類される。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(標準的)サステナビリティファイナンス</li> <li>・サステナビリティレベニューファイナンス</li> <li>・サステナビリティプロジェクトファイナンス</li> <li>・その他</li> </ul>	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議</li> </ul>	DNVは、評価作業を通じファイナンスの種類(サステナビリティワラント)は以下のカテゴリに分類されることを確認した。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> <li>* ワラントの権利行使により調達した資金をフレームワークに基づき、環境及び社会貢献が明確にされたサステナビリティプロジェクトへの資金充当、プロジェクトの評価及び選定、調達資金の管理及びレポートングについて、実施するものである</li> </ul>
1b	サステナビリティプロジェクト分類	サステナビリティファイナンスにおいて肝要なのは、その調達資金がサステナビリティプロジェクトのために使われることであり、そのことは、サステナビリティファイナンス発行に係る法的書類に適切に記載されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- 適時開示文書ドラフト</li> <li>ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議</li> </ul>	DNV は、フレームワークの中で特定されたサステナビリティプロジェクト候補が GBP、SBP 等で分類される代表的な以下の適格カテゴリに該当することを確認した。これらは、適時開示文書の中で明記され、市場関係者に開示された。  <b>環境貢献(グリーン)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>-再生可能エネルギー(太陽光発電及び蓄電システム関連プロジェクト)</li> <li>-クリーン輸送(EV 等の受給電システム関連プロジェクト)</li> </ul> <b>社会貢献(ソーシャル)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>-災害時の基本的インフラ設備</li> <li>(電力エネルギーの蓄電システム及び受給電システム関連プロジェクト)</li> </ul>
1c	環境及び社会面での便益	調達資金使途先となる全てのサステナビリティプロジェクトは明確な環境及び社会面での便益を有すべきであり、その効果は発行体によって評価され、可能な場合は、定量的に示されるべきである。	確認した文書類： <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議</li> </ul>	DNV は、ダイヤモンドエレクトリック HD 適格サステナビリティプロジェクトの実行により環境面での便益として CO <sub>2</sub> 削減、社会面の便益として、災害時の電力供給に貢献することを確認した。便益は、製品やシステム運用時の条件に左右されるため、直接的に定量的な評価は困難であるが、生産する製品やシステムの仕様等から試算される環境及び社会改善



Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
				<p>効果が、発行体により評価されていることを確認した。なお、製品やシステムのスペックは秘匿情報を考慮した範囲に留めている。</p> <p>DNVGL はアセスメントを通じ、プロジェクト実行に関連する環境・社会影響リスク(主に生産での電力利用に伴う CO<sub>2</sub> 排出)は以下の観点で考慮されており、相対的に少ないと判断した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- RE100 への加盟</li> <li>- 環境関連法令、グループ環境方針の遵守</li> <li>- ISO14001(環境マネジメントシステム)への取組み</li> </ul>
1d	リファイナンスの割合	調達資金の全部あるいは一部がリファイナンスのために使われる場合、又はその可能性がある場合、発行体は、初期投資に使う分とリファイナンスに使う分の推定比率を示し、また、必要に応じて、どの投資又はプロジェクトがリファイナンスの対象になるかを明らかにすることが推奨される。	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議</li> </ul>	<p>DNV は、サステナビリティワラントによる調達資金がリファイナンスに使われる場合、ダイヤモンドエレクトリック HD がウェブサイト上で開示する資金充当状況レポートで明らかにされたことを確認した。レポートでの開示は、実務上可能な範囲において、対象となったプロジェクト、リファイナンス額若しくは比率を含めた。</p>



## SF-2 プロジェクト選定及び評価のプロセス

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
2a	プロジェクト選定のプロセス	<p>サステナビリティファイナンスの発行体はサステナビリティファイナンス調達資金の用途となるプロジェクトの適格性を判断したプロセス概要を示すべきである。これは以下を含む(これに限定されるものではない)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発行体が、対象となるプロジェクトが適格なサステナビリティプロジェクトの事業区分に含まれると判断するプロセス</li> <li>サステナビリティファイナンス調達資金の用途となるプロジェクトの適格性についての規準作成</li> <li>環境面での持続可能性に係る目標</li> </ul>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>ダイヤエレクトリックHD関係者との協議</li> </ul>	<p>DNV は、ダイヤモンドエレクトリック HD がフレームワークに基づき、サステナビリティプロジェクトの評価及び選定が行われたことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- プロジェクトの評価：当該プロジェクト所管部門、技術管理本部及び財務部門により GBP、SBP 及び関連する基準等に合致していることが確認・評価された。</li> <li>- プロジェクトの選定：常務執行役員 CFO により選定され、代表取締役社長により最終決定された。</li> </ul>
2b	発行体の環境及び社会的ガバナンスに関するフレームワーク	<p>サステナビリティファイナンスプロセスに関して発行体により公表される情報には、規準、認証に加え、サステナビリティファイナンス投資家は発行体のフレームワークや環境に関連する持続性に関するパフォーマンスの品質についても考慮している。</p>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> <li>- ダイヤエレクトリック HD ウェブサイト (CSR 方針)</li> <li>ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議</li> </ul>	<p>DNV は文書及びインタビューを通じたアセスメントにより、ダイヤモンドエレクトリック HD が「社会・環境活動」「環境方針」を定めており、サステナビリティワラントにより実行されるプロジェクトがこれらの取組と合致していることを確認した。また、サステナビリティプロジェクトは SDGs にも関連付けられており、ダイヤモンドエレクトリック HD の事業活動の環境等に関連する持続性が考慮されている。</p>



### SF-3 調達資金の管理

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
3a	調達資金の追跡管理-1	サステナビリティファイナンスによって調達される資金に係る手取金は、サブアカウントで管理され、サブ・ポートフォリオに組み入れ、又はその他の適切な方法により追跡されるべきである。また、サステナビリティプロジェクトに係る発行体の投融資業務に関連する正式な内部プロセスの中で、発行体によって証明されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - ダイヤエレクトリック HD 資金管理フロー - ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議	DNVは文書レビューとインタビューにより、調達した資金の全てはサステナビリティワラント権利行使後からプロジェクト充当までの間、サステナビリティ管理専用の口座に入金され、その後、内部手順に基づき、適格プロジェクトへ充当されたことを確認した。
3b	調達資金の追跡管理-2	サステナビリティファイナンスの実行期間において、追跡されている調達資金の残高は、一定期間ごとに、当該期間中に実施された適格プロジェクトへの充当額と一致するよう、調整されるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - ダイヤエレクトリック HD 資金管理フロー - ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議	DNVは文書レビューとインタビューにより、調達資金は発行体の関連所管部で付与されたプロジェクトコードに基づき支出され、財務経理部へ月次で報告されたこと、また、財務経理部で四半期ごとに充当額及び未充当残高の確認を行ったことを確認した
3c	一時的な運用方法	適格性のあるサステナビリティプロジェクトへの投資または支払いが未実施の場合は、発行体は、未充当資金の残高についても、想定される一時的な運用方法を投資家に知らせるべきである。	確認した文書類： - フレームワーク - ダイヤエレクトリック HD 資金管理フロー - ダイヤエレクトリックHD関係者との協議	DNVは、未充当資金は、現金または現金同等物で管理(運用)され、財務経理部により四半期ごとに確認されたことを確認した。

### SF-4 レポーティング

Ref.	基準	要求事項	評価作業(確認した項目)	DNV観察結果
4a	定期レポートの実施	<p>調達資金の使途及び未充当資金の一時的な投資のレポートに加え、発行体はサステナビリティファイナンスで調達した資金が充当されているプロジェクトについて、少なくとも年に1回、以下を考慮した上で、各プロジェクトのリストを提供すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 守秘義務や競争上の配慮</li> <li>- 各プロジェクトの概要、期待される持続可能な環境・社会的な効果</li> </ul>	<p>確認した文書類：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- フレームワーク</li> </ul> <p>ダイヤエレクトリック HD 関係者との協議</p>	<p>DNV は、ダイヤモンドエレクトリック HD がサステナビリティファイナンスで要求される特定の項目（例：資金充当状況・プロジェクトの進捗・環境改善効果及び社会貢献）についてダイヤモンドエレクトリック HD のウェブサイトで年次報告したことを確認した。年次報告は、調達資金の全額が充当完了するまでの間(充当完了の翌年まで)、実施予定であることを確認した。</p> <p>レポーティングでは、守秘義務を考慮し実務上可能な限り、以下の最新情報が提供された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-1- 調達資金の充当と管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 調達金額及び充当金額</li> <li>- 未充当金の残高</li> <li>- 調達資金のうちファイナンスに充当された部分の概算額(または割合)</li> </ul> </li> <li>-2- 対象プロジェクトと進捗状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 調達資金を充当した適格プロジェクトの進捗状況 (例：建設中の場合はその状況 稼働予定時期等)</li> </ul> </li> <li>-3- 環境改善効果及び社会貢献 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 対象となる生産設備の製品生産計画に基づく CO<sub>2</sub> 削減効果(t-CO<sub>2</sub>/年) 及び蓄電容量(MWh)</li> </ul> </li> </ul>